

薬物乱用防止講演会

9月21日(木)、姫路少年サポートセンターの大塚清信氏を講師にお招きし、全校生徒に向けて講演会を実施しました。

実際に起きた事例で、覚醒剤使用による中毒症状で最終的に命を落とした女性の壮絶な様子を描いた映像を視聴し、生徒たちは薬物の恐ろしさを実感した様子でした。講演会を聴講した生徒それぞれに様々な想いや感想を持ち、多くの学びができたようでした。聴講後の生徒が記入した感想文の中から代表として2年1組 高松 柚葉 さんの感想を紹介します。

「今回の講演会で学んだことは、未成年の人の薬物利用者が増えていて、私たちの身近に迫ってきているということです。(省略) 近くで薬物が取引されていることがあると考えたら凄く怖いです。映像で薬物に手を出した女性が幻覚を見たり、幻聴を聴いたりしたときの目つきは恐ろしいものでした。(省略) おすすめられて言葉で断ることは難しいかもしれませんが、断らないと自分に危険が迫るので何とかして対処したいです。友達にもそういうことが起きそうになったら、断る勇気を持ってほしいし、手をつけることは絶対にやめてほしいです。自分たちの身近に薬物が迫ってきているなか、自分たちができることを早めに見つけておいていざというときにできるようにしておきたいです。」

今回の講演を心にとどめ、薬物の誘惑から身を守り、後悔のない人生を送ってほしいと思います。

